
 = 当館ウェブサイト>お知らせ>プレスリリースよりダウンロード可  
リリース

 = 読者プレゼント用招待券あり  
招待券

2011年1月吉日  
東京国立博物館 広報室

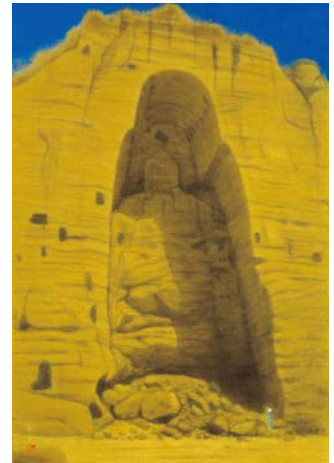
特別展情報

文化財保護法制定 60 周年記念  
特別展「仏教伝来の道 平山郁夫と文化財保護」  
2011年1月18日(火)～3月6日(日) 平成館

   
リリース 招待券

平山郁夫氏の文化財保護への熱い思いは消えることなく

人類共通の貴重な財産である文化遺産の中には、紛争、環境問題などにより存在の危機に面しているものが数多く存在します。バーミヤンの大石仏もそのひとつです。アフガニスタンの内戦およびタリバン政権下の破壊活動により、これらの文化遺産は破壊され、多くが国外に流出してしまいました。平山氏はアフガニスタンから流出した文化財(文化財難民)を保護し、国情が安定した時に返還する事業を行うため、2001年に「流出文化財保護日本委員会」を設置しました。そして、アフガニスタンの地への愛情や、文化財復興支援への想いを、「バーミヤン大石仏を偲ぶ」と「破壊されたバーミヤン大石仏」の中に描きました。本展覧会は、このような平山氏の偉大な活動を顕彰し、その業績をとおして文化財保護の重要性や課題などを改めて広く知っていただくこととするものです。



破壊されたバーミヤン大石仏  
平山郁夫筆 2003年 広島・平山郁夫美術館蔵

報道内覧会 1月17日(月)11:00～

(詳細は広報事務局までお問合せください。)

主催:東京国立博物館、NHK、NHK プロモーション、朝日新聞社 広報事務局:共同PR内 TEL: 03-3571-5326

特別展「写楽」  
2011年4月5日(火)～5月15日(日) 平成館

   
リリース 招待券

これを見ずして写楽は語れない!

本展覧会では、写楽作品のほとんどを網羅するだけでなく、最上の保存状態の作品をセレクトし、史上最大・最高の写楽展を目指しています。さらに、保存状態の異なる作品の比較、異版(同一内容で版の一部が異なる作品)の比較など、展示の趣向にも注目が集まっています。たとえば、「三代目瀬川菊之丞の田辺文蔵女房おしづ」は、東博蔵の作品は着物の模様が薄茶色になっていますが、個人蔵の作品では紫色が美しく残り、摺った当時に近い姿がご覧いただけます。「初代尾上松助の松下造酒之進」では、着物の紋に描かれた模様が違う2枚を比較します。また、写楽が描いたものと同じ芝居の同じ役者を他の浮世絵師がどう表現しているのか、歌川豊国や勝川春英などの作品とも比較します。



重文 三代目瀬川菊之丞の  
田辺文蔵女房おしづ  
東洲斎写楽 寛政6年5月  
東京国立博物館蔵

三代目瀬川菊之丞の田辺文蔵女房おしづ  
東洲斎写楽 寛政6年5月  
個人蔵  
Photography: Steven Tucker

最新の研究成果を反映させながら、写楽作品をさまざまな角度から検証していく展覧会です。

主催:東京国立博物館、東京新聞、NHK、NHK プロモーション  
広報事務局:デイス内 TEL: 03-6863-3409

《お問い合わせ》

東京国立博物館 広報室 〒110-8712 東京都台東区上野公園 13-9  
TEL: 03-3822-1302(広報直通) FAX: 03-3822-2081 E-mail: [pr@tnm.jp](mailto:pr@tnm.jp) URL: <http://www.tnm.jp/>

## 2・3月の国宝から

### ■本館2室 国宝室

国宝 虚空蔵菩薩像 平安時代・12世紀

2月8日(火)～3月21日(月・祝)

元々は「顕教(仏教の中で、秘密にすることなく明らかに説き顕した教えのこと)」の菩薩ですが、五仏宝冠をつけたこの図は、「密教」の虚空蔵法の本尊として描かれたものと言われています。着衣、台座、岩山などの渋い色調と、月輪、光背、天蓋などに用いられる銀泥・銀截金が、一層幽玄な趣を引き出しています。

国宝 花下遊楽図屏風 狩野長信筆 安土桃山～江戸時代・17世紀

3月23日(水)～4月17日(日)

楽しいお花見の情景が描かれた屏風。毎春恒例のイベント「博物館でお花見を」のメイン作品です。左隻では、着飾った男女が踊る様子を見物しており、右隻では高貴な女性たちが桜の木の下で音曲を楽しんでいます。人々の楽しそうな表情だけでなく、華やかな着物の柄までも細かく丹念に描写され、賑やかな宴の様子が伝わってきます。「博物館でお花見を」(3月23日～4月17日)の展示、イベント等の詳細は次回の定期情報でお知らせします。



国宝 虚空蔵菩薩像  
平安時代・12世紀 東京国立博物館蔵

## 特集陳列 東京国立博物館コレクションの保存と修理

### ■本館特別2室

2月15日(火)～3月13日(日)

博物館には作品の「公開」と、修理を伴う「保存」という使命があります。当館ではその2つを両立させるため、伝統に裏付けられた経験と最新の保存科学の成果を基に、文化財の保護活動を行っています。修理を必要とする原因・症状・経過・予後・診断・修理を行う活動は、しばしば臨床医学にも例えられます。この展示では、平成21年度に修理が完了した作品を中心にご覧いただくとともに、修理過程で得られた情報をパネル展示し、博物館が担う文化財修理の役割についてわかりやすくご紹介します。

両界曼荼羅図 胎蔵界曼荼羅 鎌倉時代・14世紀

楼閣人物螺鈿料紙硯箱 中国 明時代末期・16～17世紀 広田松繁氏寄贈

千手観音菩薩坐像 南北朝時代・14世紀

※すべて東京国立博物館蔵。展示作品、展示期間等は、都合により変更される場合があります

1月2日にリニューアルした本館17室「文化財を守る—保存と修理—」では、こうした当館の取り組みを、修理前後の文化財、保存・修理に係わる道具・装置・材料等で紹介しています。併せてご覧ください。



千手観音菩薩坐像  
南北朝時代・14世紀  
東京国立博物館蔵

## 見学ツアー

特集陳列「東京国立博物館コレクションの保存と修理」に関連した、保存と修理の現場を見学するツアーを行います。作品の保存の仕方や修理に関して一般のみなさまにご理解をいただくため毎年行っていますが、博物館の裏側や研究員の仕事に興味をもつ方は年々増え続け、昨年は約4倍の応募倍率となりました。大変人気の高いツアーです。[ご取材も受け付けております。](#)

### ●1. 見学ツアー「石造彫刻の修理現場へ行こう」

一般の方を対象とした、保存と修理についての解説および石造彫刻修理所の見学ツアー。

日時:2月24日(木)13:30～15:40

会場:特別2室、石造彫刻修理所 定員:30名(事前申込制)

### ●2. 見学ツアー「保存と修理の現場へ行こう」

一般の方を対象とした、文化財の保存と修理についての解説および修理室等の見学ツアー。刀剣修理や書画等の修理、作品の内部構造を知るためのX線調査等の現場をご案内します。

日時:第1回 3月10日(木)13:30～16:10

第2回 3月11日(金)13:30～16:10 (第1回・2回とも内容は同じです)

会場:修理室、X線調査室等 定員:各回40名(事前申込制)



昨年のツアーの様子  
修理室にて、研究員が貴重な書籍の保存の仕方について説明しています。

## 講演会／イベントなど

### 講演会

#### ●講演会「仏像の子どもたち」

「子どもの身体性」をキーワードとして美術解剖学という視点から仏像に迫ります。

日時:2月5日(土)13:30~15:00

講師:布施英利(東京芸術大学美術学部准教授)

#### ●特別展「仏教伝来の道 平山郁夫と文化財保護」関連事業 講演会

「薬師寺僧侶が語る大唐西域壁画」

2月8日(火) 15:00~15:45 講師:松久保秀胤(法相宗大本山薬師寺長老)

2月22日(火) 15:00~15:45 講師:山田法胤(法相宗大本山薬師寺管主)

定員:380名 聴講無料(ただし本展覧会の観覧券が必要) 会場:平成館大講堂

#### ●講演会「中国古代の碑帖に関する研究と鑑定方法について～自らの経験をふまえて～」

当館と台東区立書道博物館との連携企画「拓本とその流転」(3月15日~5月15日)に関連した講演会です。

日時:3月19日(土)13:30~15:00

講師:林業強氏(香港中文大学文物館館長)

後援:書学書道史学会

#### ●講演会「キリシタンの祈り ミサとオラショ」

特集陳列「キリシタンの祈り—ミサとオラショ」(3月15日~4月24日)に関連した講演会です。

日時:3月26日(土)13:30~15:00

講師:皆川達夫(立教大学名誉教授)

※ 申込方法の詳細は、近日当館ウェブサイト <http://www.tnm.jp/> へ 催し物にアップされます

### ワークショップ

#### ●おとなのためのワークショップ「春のもようのお皿作り」

梅や桜の季節にちなんだ展示をじっくりと見て、作品の伝統的なもようをヒントに、展示室でみつけた春をお皿にデザインするプログラムです。

(要事前申込 定員各回 20名)

(1)3月12日(土) / (2)3月13日(日)13:00~15:30 会場:平成館小講堂

※ワークショップ申込方法の詳細は、当館ウェブサイト <http://www.tnm.jp/> へ 催し物



### イベント

#### ●平成22年度 東京芸術大学学生ボランティアによる制作工程模型展示 悉皆金色—阿弥陀如来像ができるまで

・制作工程模型展示「悉皆金色—阿弥陀如来像ができるまで」

1月2日(日)~4月3日(日) 本館20室 みどりのライオン

・ギャラリートーク「悉皆金色」:武田裕子(東京芸術大学 文化財保存学専攻 保存修復日本画)

実施日時:2月2日(水)、11日(金・祝)、17日(木)、3月2日(水)、13日(日)、17日(木) 各日15:30~16:00

集合場所:本館1階エントランス 解説場所:本館20室

### お知らせ

※1月2日(日)より、本館入口玄関、本館17室、平成館入口玄関に募金箱を設置しております。来館者の皆様からの募金は文化財の購入・展示・保護など博物館の様々な事業に活用させていただきます。

※1月2日(日)よりチケット販売窓口にて、クレジットカード、電子マネーの決済サービスを開始しました。

※詳細は、当館ウェブサイト <http://www.tnm.jp/> へ お知らせ

### 最新情報はメールマガジンで

展示替え等の最新情報をタイムリーにお届けします。登録は、当館サイト(<http://www.tnm.jp/>)からどうぞ。

### プレスリリースをダウンロードできます

特別展などのプレスリリースを Web 上で公開しています。当館サイト(<http://www.tnm.jp/>)の「お知らせ」の欄の最下段「プレスリリース」の項をご覧ください。